

異常な市長の公教育への介入

知事との二人三脚、安倍教育改革の先取り

市長は、4月市長選挙が終ると、17日東京、文部科学省で、武雄市内の小学校に「官民一体型」学校を導入すると記者発表した。

その前触れは、昨年、市長がブログに「7月1日記者発表する」と書いていましたが中身はわかりませんでした。私が、6月定例議会一般質問したとき、市長は、「江原議員楽しみにしてください」と答弁しました。ところが翌日、牟田議員の質問の時、延期すると答弁したのです。この間、闇のなかでした、ところが、左の写真は、そのころのうごきが生きた写真です。



上の写真、市民は知らない昨年6月、知事室で、市長、花まる学習会代表と藤原氏・代田氏と知事・県教育長との会談の様子

教育関係者・保護者まったく蚊帳の外

武雄市教育委員会からは報告がなく、すべて市長による「教育方針」が次々記者会見で示されることが異常です。3月28日の市長ブログには、「再選されれば、4月17日(木)文部科学省記者会見室において会見します」と書いていました。市長は、選挙後「花まる学習会の導入」を、そのとおり発表しました。市民、保護者は、はじめてテレビで知るところとなりました。教育行政が、これでいいのでしょうか。これこそ市長による「一方通行のおしつけ」です。教育関係者、保護者はまったく蚊帳の外です。人事権予算編成権をもつ権力者としての市長の立場で推し進めているわけです、
そして選挙後、東京で記者会見する手法は「独裁」的のものではないでしょうか。

教育監、学校長へ民間人配置

市長は、人事権予算編成権をもちその権限を行使しながら、学校現場には、教育監としてだけでなく現場に職務遂行するためとして学校長の配置まで進められました。今年度、教育監の報酬720万円の市の予算を組み、県には、校長職として教育監の申請をされています。これらのことが、市民県民の知らない間に進められています。教育に関して秘密裏の教育行政でいいのでしょうか。問われるべきです。

6月定例市議会が6月2日に開会。会期は19日まで、一般質問の日程順序は左記のとおりです

◆市議会一般質問は9日から12日の間。開会時間は、9時から。実況で有線テレビ放映されます。再放送は午後7時からです

一般質問順序 敬称略

9日【月】9時開会

- ①豊村
- ②上田
- ③朝長
- ④江原一雄

10日【火】9時開会

- ①山口昌
- ②谷口
- ③古川
- ④宮本

11日【水】9時開会

- ①山口等
- ②松尾陽
- ③山口裕
- ④吉川

12日【木】9時開会

- ①川原
- ②猪村
- ③牟田
- ④浦

13日(金) 議案質疑

16日(月) 常任委員会

17日(火) 常任委員会

18日(水) 予備日

19日(木) 委員長報告

質疑、討論

採決・閉会